

伊東市民病院で ございませす。

Vol.6
2017
June



インタビューコーナー
—看護部長 鈴木和美—

栄養室のヘルシー☆オイシー☆レシピ

地域医療連携室News Letter

今年度伊東市民病院に
28名の職員が入職し
ました。

精いっぱい仕事に取り
組みますのでよろしく
お願いいたします。





Q1. 本年度から看護部が新体制となりましたが、意気込みをお願いします。

このたび四月より看護部長を拝命いたしました鈴木和美です。前馬場貞子副院長兼看護部長は多くの課題に取り組まれましたが、中でも看護職員の教育・育成には大変御尽力いただき、看護実践力の充実を図ってこられました。

今後は、個々の看護職員の総合力以上の力を発揮できるチームへの醸成をすすめ、当病院の理念でもある「市民の生命と健康と生活を守り、地域発展に寄与します」に貢献できるよう努力してまいります。

Q2. 看護師を志した理由は何ですか？

実は、他の方々のような崇高な志はありませんでした。正直なところ、看護師といえばアニメのキャンディ・キャンディやドラマで見るとかいうのもでした。しかし、進学して看護を学び、患者さんやご家族の人生に触れ、「健康の回復」や「苦痛の緩和への支援」、「生涯を通してその最期まで、その人らしく生を全うできるように援助」を行う看護師という仕事にやりがいを感じ、現在に至ります。

その人らしく看護の仕事を 続けられるよう支援していきたい

Q3. 新看護部長としての目標をお願いします。

地域に貢献できる看護部であり続けたいとの願いから、今年度の看護部の目標を「地域と共に・地域に信頼される・頼られる病院・看護の構築」といたしました。この目標を実践する基盤には、「患者さんを第一に考える力」「困ったことを話し合えるチームワーク」「成果を明確にした実行」「情報の連絡」「相談、報告」「説明力」を必要とします。

もう一点は、ワークライフバランスの推進です。看護という職業は一生継続される仕事だと思えます。ライフサイクルの中で育児と家事の比重が高くなる時期、仕事に専念できる時期、また介護の比重が高くなる時期などの変化に、互いに最適な環境を創っていく、キャリア形成においても、その人らしく看護の仕事を生涯続けられるよう支援していきたいと思っております。

Q4. 今後の地域における看護の在り方をどう考えますか？

団塊の世代といわれる昭和20年代前半生まれの方々が、後期高齢者になるのが2025年です。伊東市の高齢化率はすでに40%を超えています。現在行政などでは、2025年を目前に「地域包括ケアシステム」の構築を進めており、同時に認知症高齢者の増加も見込まれます。当病院の看護部としては、伊東市内の唯一の200床以上の急性期病院および、基幹病院として重責を感じております。

当病院では、患者さんがお住まいの地域の中で診療所やクリニック等の「かかりつけ医」と役割を分担し病気の診断や治療・検査・健康相談等を行い、地域の医療機関全体で一つの病院のような機能を持つ『地域完結型医療』を推進しています。看護においても、地域の医療機関や訪問看護ステーション、老人保健施設等との連携を密にし、切れ目のない対応が必要だと考えております。

Q5. 地域の皆さんにメッセージをお願いします。

医療・介護のありかたが「病院中心」「治療中心」から「地域のなかで寄り添う医療・介護」に切り替わってきました。病院や地域等でも看護が重要となると考えます。私たちは地域完結型医療への参画と看一看護の充実、また今後ますます活躍が期待される「特定ケア看護師」の教育に力を注いでまいります。どうぞ、皆さまのご高配とご協力、よろしくお願い致します。

栄養室の

ヘルシー☆オイシー月レシピ



サバ男くんボロネーゼ

～伊東港でとれたさばのすり身を使って～



Ingredients for one

✓ スパゲッティ	100 g	✓ 白ワイン	10 g	< お好みで >	
✓ サバ男くんのすり身®	50 g	✓ ホールトマト缶	60 g	✓ 粉チーズ	1 g
✓ にんにく	2 g	✓ デミグラスソース	10 g	✓ 粉パセリ	0.1 g
✓ 生姜	3 g	✓ ケチャップ	5 g		
✓ たまねぎ	30 g	✓ コンソメ	1 g		
✓ セロリー	5 g	✓ 砂糖	2 g		
✓ 人参	15 g	✓ ブラックペッパー	0.3 g		
✓ しいたけ	5 g	✓ バジルパウダー	0.1 g		
✓ オリーブオイル	3 g				



Directions

- 1 野菜類はすべてみじん切りにする。
- 2 さばのすり身は解凍し、お湯でさっとゆでてザルにあげる。
- 3 フライパンにオリーブオイルを熱し、にんにく・生姜を入れ炒める。香りがでたら、その他の野菜も加え炒める。
- 4 野菜に火が通ったら、2を加えすり身をほぐすように炒める。
- 5 すり身がほぐれたら調味料を加え、汁気が少なくなるまで煮込む。
- 6 スパゲッティをゆでる。
- 7 ゆで上がったスパゲッティに5をかけ、お好みで粉チーズとパセリを振る。

Point

すり身は1度ゆでこぼすことでさばの臭みが抑えられます。ブラックペッパーを少し多めに入れると味が引き締まってより美味しくなりますよ (^_^)



認知症疾患医療連携協議会を開催しました

平成29年3月15日(水)に第1回認知症疾患医療連携協議会が行われました。熱海伊東圏の医師会、病院、行政、介護福祉施設の代表者14名の委員の方々にお集まりいただき、活発な意見交換が行われました。協議会では「静岡県認知症施策推進の取組」、「認知症疾患医療センター概要」、「認知症疾患医療連携協議会設置要綱」、「平成28年度認知症疾患医療センター実績報告」、「平成29年度事業計画」について、説明・質疑応答・意見交換が行われました。今後も認知症疾患医療センターの機能を果たすべく、関係医療機関・行政・介護福祉施設等と協力しながら取り組んでまいります。



研修会「付き合っている認知症」を開催しました

平成29年5月22日(月)に認知症疾患医療センター主催の医療従事者研修会が開催されました。研修会名称は「付き合っている認知症」とし、今年度は全6回を計画しております。今回は「薬がつくる認知症」をテーマに熱海市、伊東市の医療従事者と当病院職員51名が参加しました。数多くある認知症の原因の中でも薬による認知障害についての原因や治療方法について認知症疾患医療センター夏山医師による講演が行われました。地域の認知症施策の取り組みに少しでもお役に立てる研修会になるよう今後とも努めてまいります。次回は7月24日(月)を予定しております。医療・介護従事者の皆様からの多数のご参加をお待ちしております。

認知症への理解を深めるべく定期的に開催しています

ペインクリニック外来のご紹介お待ちしております

「ご紹介お待ちしております」

平成29年4月から紹介予約制にてペインクリニック外来を行っております。ペインクリニック外来では痛み疾患全般を治療させていただいておりますが、特に神経ブロックを用いた治療を得意としております。神経ブロックは、限りなく痛みの少ない方法を採用しております。投薬では痛みが薬にならない頸椎・腰椎疾患、帯状疱疹神経痛などの患者さんがいらつしやいましたら是非ご紹介をお願い申し上げます。

当病院ではブロック注射を中心に行い、リハビリ・投薬などの通院に関しては紹介元のかかりつけ医の先生方をお願いすることになります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

看護公開講座のご案内

当病院では2階喫茶やまも横にて、看護公開講座を定期的に開催しています。誰でも自由に参加できますのでお気軽にお立ち寄りください。

次回開催予定

開催日	担当チーム	内容
6/14 (水)	糖尿病ケア	「カロリーの七不思議」パート3
7/11 (火)	脳卒中リハ看護	脳梗塞について
8/9 (水)	認知症ケア	医療介護相談
9/13 (水)	NSTチーム	栄養について ～口から食べる ことの大切さ～

